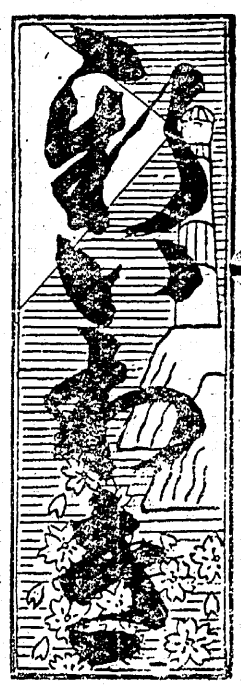
一月十六日 夕刊



日刊但シ日曜祭日及日休刊一ケ月廿五錢 郵税十五錢一部二錢 廣告料 場所指定 一行四十錢 二十錢增 發行兼編輯印刷人 牛谷政喜 發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

石城酒造組合で 竹内技師の醸造講演

同時に酒母麹鑑評會

平税務署管下の酒造業に對し若松工業試驗場の本縣商工技師醸造擔任竹内直衛氏は來る十八日來平巡回指導をなす筈だが石城酒造組合では之れを好機に廿一日税務署の樓上に當業及び杜氏並びに從業者を集め醸造に關する講演を請ふと同時に酒母麹鑑評會を開催すると尚ほ巡回指導日割は左記の如くである

▲十八日平町 十九日平町及び高久 豐間 江名 二十日平窪 内郷(以上)

税務署雇員の 採用試驗

本年の中等校卒から

仙台税務監督局では雇員の新規採用をなす筈で本年三月卒業の中學及び商業校生徒から志望者を募り來る二月中旬頃各税務署に於て第一次試驗を行ふ由であるが平税務署には商業校から既に十名の志願があり局管内四十四ヶ署より十名づゝとして四百四十名に上る譯で相當多數に達するものと見られてゐるが第二次試驗は仙台に於て施行すると

石城杜氏總會

石城酒造組合主催の酒母麹鑑評會は別項所報の如くであるが同郡杜氏組合では二十日正午平税務署樓上に總會を開き十年度決算並に十二年度豫算を附議し酒母麹鑑評會には竹内技師を審査長に仰ぐ外郡内酒通家近藤貫一、本馬喜榮、細川七五郎、鈴木儀作の四氏に審査員を囑託すると

舊正月を控ひ 工事進捗

地元民の小使取から

東北振興豫算三千圓を以て改修中の石川、湯本線石城郡上遠野村石住村に亘る縣道工事は先き頃まで人夫薄のため困つてゐたが舊正月に近づける地元民は小使錢の稼ぎに數日來毎日二百人を超え非常な成績で進捗してゐるが同村深山田に於ける六萬圓の砂防工事も舊正月を控いて出人夫增加毎日二百三十人ぐらゐづゝの作業にこれも好成績を上げ既に工程五分の進捗をなしたと

公會堂建設と 産業組合

青年の努力に促され

石城郡上遠野村の大字深山田では曾て同部落にあつた分教場の舊校舍を大字の中央に移轉し工費八百圓の修繕を加へ且つ青年の奉仕作業を以て公會堂に完成し去る十三日落成式を擧げたが同部落では十個所の農事實行組合聯合會を組織し同機關によつて産業組合に匹敵する事業を續けて來たが同公會堂の建設による村民の和合は近く産業組合創設の機運が熟しつゝあると

盜みは惡いが 同情される幼心

柴田平署長涙で懇諭

石城郡湯本町入山炭礦の倉庫内からつい此の程古鐵類を窃取逃走する少年あるを巡邏中の駐在巡査が現認取押へ本署の取調べを受けたが同少年は町内字三畝五八居住門馬磐夫(三七)の長男進(二七)假名で父磐夫は元入山の坑夫であつたが三年以前に足を負傷し其れが因で骨膜炎となり全身不隨で起臥の一家に三人の子供を抱える妻いな(三四)同坑自治會館建築の土工その他に働き一日四、五十錢の勞銀を得るも人の糊口を凌ぐに充分でなく病床に呻吟する父をながめ勞苦に衰へる母を見ては幼な心にも氣の毒でならず惡いことゝ知りつゝも古鐵類が亂雜に散らばる炭礦のそれに目をつけ前後六、七回に亘つて盜を働き三圓餘の金に替へて生活

常識講座

シャンツエは獨逸語でスキー跳躍台の事、スロープ(斜面)に向つて台を作り其上に續く長いアプローチ(助走路)から兩杖なしに滑り降り台を利用して高く飛びーり下方のスロープへ降り技

正月の鳥小屋 斷然廢止

平窪と江名と豊間

石城郡平窪村では地方の舊慣である舊正月の鳥小屋は弊害が多いので斷然これを廢止する申合せをなしたが同郡豊間村及び江名町で同じい見地から本年よりこれを廢止する筈で何れも部落各戸に其旨を嚴達したと

歩兵一等兵 剃刀自殺

出稼中の山形人

石城郡好間村の北好間字三反田溝井定次方同居同村平炭礦坑夫山形縣東置賜郡東根村菊地吉次(四七)は昨十五日午後三時半頃居宅座敷で日本剃刀を以て頭頸部三ヶ所を斬り鮮血に染まつて絶命してゐるのを家人が發見平署の檢視を受けたが吉次は郷里にある養女まさ(三五)に養子を迎ひ自分は救濟事業等に出て働いてゐたが養女夫婦に邪けんにされるを苦にして自家をまり本月四日同炭礦に落つき去る十四日石炭運搬に從事中トロにはね飛ばされて腰部を負傷その日を送つてゐるうち郷里を考へ發作的に精神に異狀を來たせるものゝ如く尚ほ同人は歩兵等兵であると

關西廻り 團体募集

水戸運輸事務所では來る三月十一日出發で同二十日歸着する山陽、四國關西廻りの國体四百名を管下各驛から募集中であるが行程大要左記の如く平驛出發は汽車賃十六圓四十七錢その他二十九圓を合せて四十九圓四十七錢の會費であると

第一日出發(車中泊)第二日嚴島着泊 第三同神社參拜後汽船で四國高濱上陸電車で道後温泉泊 第四同温泉發松山見物琴平參拜高松着泊 第五栗林公園屋島附近見物德島へ着泊 第六同地發小松島から汽船で大阪着市内見物後泊 第七大阪發京都へ市内見物の後泊 第八京都發奈良見物の上山田着泊 第九伊勢參拜後二見浦附近見物出發(車中泊) 第十早朝熱海着旅館で入浴朝食後(歸途)

川部村長 芳賀氏當選

石城郡川部村村長の改選に當り元助役芳賀義虎氏と加茂元吉氏兩派に猛烈な競爭を交へられてゐたが昨十五日の村會で決戰投票の結果七對四を以て芳賀氏の當選となつた

支部長評議員會

石城酒造組合では來る二十一日午前十時平税務署樓上に支部長評議員會を開催し酒杜麹鑑評會に關して附議の後菊田支部長の欠員に對する補缺選擧をなすと

石城第三種所得

平税務署に於ける第三種所得三期分の納税は來る三十日限りであるが納税人員千三百六十一人税額一萬七千九百六十一圓八十一錢で臨時利得税は五名税額二百九十七圓五十錢であると

運轉夫鐵道自殺

石城郡内郷村の宮居住同村大星炭礦運轉夫布田重吉(四七)は昨十五日朝居宅近くの鐵道に飛び込み自殺したが同人は昨年夏頃から鮮人坑夫等を使用し窃盜團を組んで古鐵類を盜ませてゐたので最近に至り其發覺をおそれたものでないかと見られてゐる

六圓分を只飲み

石城郡飯野村の北白土字木下農山野邊定之助(四一)は舊臘二十九日夜平町長橋町飲食店草野屋事草野とき方で五圓九十錢の只飲みをなし昨十九日平署に檢擧さる

カツとなつた 嫉妬の刃

女に二週間の傷

石城郡泉村の瀧尻古物商橋本一郎方同居鮮人李廣世(三五)は去る十四日午後六時頃同郡錦村昭和人絹工場雜夫中承周氏綾事朴永年(三四)方で匕首を以て同人の頭部に長さ五寸深さ骨膜に達する全治二週間の傷を與へ植田署に檢擧されたが李は昭和人絹の雜夫で有夫の朴と關係し一ケ月程前から橋本方に同居してゐたところ本月十一日申が死亡したので兇行當日朴の家を訪ねた際同じ鮮人の日本名井上某と親し氣に對談してゐるのを見て嫉妬の末朴に斬つけたものであると

郵便創業談

遞信協會編纂

仙台遞信局が今回管下關係者に遞信協會編纂の「郵便創業談」なる書册を頒布されたが書は帝國郵便事業創始の父前島男の遺稿を輯錄されたもので租税權正の前島密が驛遞權正兼任を命ぜられた明治三年五月胸中に抱ける帝國郵便の一粒の種子を發芽育成爲さんとせる當時の東西兩京に往復する官文書は飛脚屋へ支拂ふ賃金毎月平均一千五百圓を要し此間の到達に仕立便で三日間餘、早便で七、八日、並便半月を費したと云ふを明治十六年に發布された郵便條令の如き主として前島男の草稿にかゝるもので其の當時の事情と沿革とを紹介し郵便事業の精神を知らしむる好個の册子である

平町諸團体の昔話 (十三)

十三日會 10

大森 勇

印度とヒマラヤ…講伯丸山晩霞(十四年三月)晩霞先生は山岳畫家で山岳研究の權威者である、萩原義雄君の紹介であつた樣に記憶する。ラヂオの話…富岡無線電信局長木村嘉一郎(四月)ラヂオと云ふものに依れば東京の音樂を平で聽けると云ふのでその夜の十三日會に出席するのは月世界にでも旅行する氣分だつた、磐中磐女の寄宿生が全部出席した事に依つても當時ラヂオは如何に人氣の的であつたかと云ふ事はわかる。殺人犯審理の經驗談…白井武松(十五年五月)語れば永くなるから略するが講談よりまだ面白い講演だつた、聽衆百餘名。支那問題に就て…坂本義孝(七月)坂本氏は内郷小島の人當時東亞同文書院教授後ジュネーブに行かれた。滿蒙政策に就て…荒川精一(八月)荒川君は國士として中央でも重きをなした人である。加波山事件の回…宮田佐久間(十月)宮田老人は加波山事件の唯一人の生存者である。南支視察談…西山直三郎(三年二月)。スマトラの話…野崎喜八郎(九月)。支那問題に就いて…代議士小山倉之助(十月)小山君は民政黨より特派されて濟南事變の調査に行かれたのである、慘殺された日本人の寫眞を見せてくれたが直視するに忍びなかつた。國家の理想と其の充實…代議士椎尾辨匡(四年四月)話の内容から云ふても辯舌から云ふてもあんな大雄辯家が平に來た事がないと思ふ、椎尾先生はその晩私宅にも宿られたが對座すると默々として夕の雄辯を何處に忘れて來たのだらうと疑はれる位だつた滿州で張作霖の爆死を目擊したとて簡單に語つて聞かせた切りだつた、鈴木積善君のお骨折りで平に來られたのである。

青果市況

平中央青果市場調(厘單位)

	高値	安値
葱 (貫)	一〇〇	一五〇
油菜(百把)	四〇〇	三五〇
人參(貫)	一七〇	一二〇
牛蒡(貫)	二二〇	一〇〇
干大根(十本)	四〇〇	一五〇
丸大根(十本)	三五〇	一五〇
里芋(貫)	二七〇	二二〇
馬鈴薯(貫)	一八〇	一六〇
甘藷(貫)	一七〇	一六〇
蓬莪草(十把)	八五	八〇
白菜(貫)	一七〇	一五〇
葱(小把)	三五	一五

今晚は北の風、晴
明日は北東の風、晴(一時雪)
(小名濱測候所)

洋服は 高島屋洋服店 平二 電三八六

薬方百

ニラを加工する 強壯劑

成分九十九パーセントを示す大成功

ニラを材料として製出される藥品は澤山あるのであるが之れを分析すると余りに成分の少ないものゝ多いことを遺憾として新潟縣三條市の南裏農產加工組合技手小林堅太郎氏は其の成分を多分に含有する強壯劑の製造に苦心研究を重ねてゐたが今回九十九パーセントの成分を含有する獨得のニラ粉末加工法を見事に成功し專賣特許登錄の出願をなすとともに東京、大阪、横濱、朝鮮方面に向けて製品の見本を出荷し非常な好評を博してゐるが製法概要を上ぐれば

加工法は先づ生ニラの表皮を剝いで二日間乾燥して成分を濃縮せしめ而して後にこれを細かく切り、其の際成分が脫逃するのを防ぐために澱粉をからみ攝氏二十一度から三十度の太陽の副射熱で四日間ぐらゐ乾燥する、斯樣にして適當に乾燥したところを製粉機にかけるのであるが之れを製造する期間は六月初めから十月下旬迄までが有効で同氏はすでに二十五グラム瓶詰千本を製造したが今年六月からは一層これに精進し値段は一本三十錢ぐらゐの見當で賣り出すものゝ如くであるが他の固種藥品にして劑合安くはあり成分も百パーセントに近いところに非常な强味を認められてゐるとのことである。

正確なる 体温計 寒暖計 (各種) 計量器指定販賣
平町五丁目角 山野邊藥局

慢自の品良優も豚も牛
肉の御用命は 三三屋 平町田町

デーリーサービス

日	品目	價	品目	價
月	カツレツ	二〇	チキンライス	二五
火	ポークチャップ	二五	カツ丼 親子丼	二〇
水	エビフライ	二五	ハヤシライス	一〇
木	メンチボール	二五	オムライス	一〇
金	コロッケ 鰈フライ	二〇 二五	ハムライス	一〇
土	ビーフテキ	二五	カレーライス	一五
〃	ランチA	四〇		
〃	ランチB	六〇		
	ランチC	八〇	以上の一割引にて差上ます	

特にマルトモのランチは…
材料のおまかせを願つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出來ますので御華客樣からいつも御好評を戴いて居ります
御來店御召上りの時も御來客樣用仕出し等總べて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節〳〵の材料で美味快適なものを調理進上出來ますので之また非常に御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO
マルトモ食堂　平町停車場通　電話二二三

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關內正一　平町二丁目　電話一六番
事務取扱者　阿部助次郎

診療科目
口腔外科、補綴科、保存科、齒列矯正科、小兒齒科、(其他齒科一般)
毎日晝夜診療　日曜午後休み
平町田町(藤田女學校前)
齋藤齒科醫院
東京齒科醫學士　齋藤賢三

齒科開業
此の度左記の處に診療所を開業仕り候間此段御通知申上候

産婦人科 外科 藥局
産婦人科院長　木村寅次郎
醫學博士　內木宗八
藥劑師　大岩俊雄
平町新川町九二　入院隨意　病室完備
木村病院　電話六四番

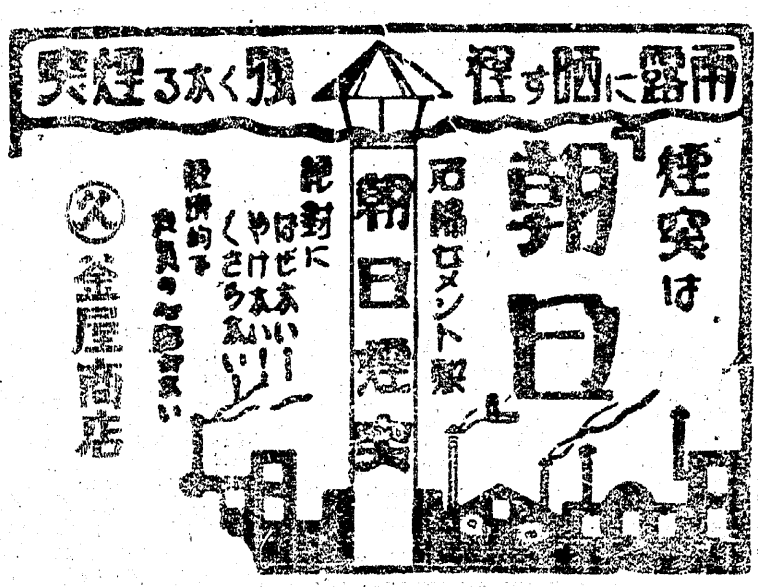
内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科
平町田町　電話五一三番
高久病院　院長　醫學士　高久忠

診療科目
一、齒科一般　保存科、補綴科、齒列矯正科、小兒齒科、鋳造科、鑄造科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野惠次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町(松月堂向ひ)電話五〇九番

産科、婦人科
根本醫院
平町南町五二　電話三四番
入院隨時　手術室完備
根本莊次郎　本貞雄

サロンで　エビ料理を
始めました
サロンベニエ　天ぷら
三十錢
ベニエライス(天丼)
三十五錢
ごゆるり御試食を
レストラン サロン
電三五二

移轉お知らせ
今般スタヂオ擴張の爲め左記に移轉仕り候間從前通り御引立の程偏にお願ひ申上候
平町田町五番地(三丁目北裏通り)
齋藤寫眞館　電話(呼)二七一番

便利で經濟な 日下家政婦會の 派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
會員(同志)の御加入を御誘ひ致します　派出なき閑時に裁縫や編物を御教授致します
平町字田町十八(西村屋横町)
日下家政婦會　會長　日下すい子
新設電話　七二三番

電話3番
モーター付九ミリ半が
39圓で買へる
ボニーモーター附撮影機
F 3.5　¥ 3900
F 2.9　¥ 5800
お電話下されば機械持參　店員が説明申上ます
平2　西村屋藥局